

老舗の歴史を伝える

屋号・ロゴマーク物語

クボタ歯科醫院

松山市道後湯之町 4-15 ☎ 089-915-4455

【平成13年創業】

クボタ歯科醫院 SANZE インプラントセンター



建物横の下がり看板
のデザインも祖父の
医院にかかっていた
ものを踏襲している

曾祖父の開業医院に回帰した名前

道後の伊佐爾波神社へ上る石段下、左手にある立派でレトロな佇まいが「クボタ歯科醫院」である。医院長の久保田敦さん（47歳）は歯科医師家系の4代目に当たる。

初代の久保田巖^{いわお}さんは明治の半ば、旧満州は大連の目抜き通りに「久保田歯科醫院」を開業。2代目・謙次郎さんは父の医院を継ぎ、戦後宇和島へ。3代目・晃^{あきら}さんは宇和島市で現在も「クボタ歯科医院」を営んでいる。

敦さんが松山で歯科を開業をしようとした11年前、保健所に「クボタ歯科医院」で申請したが、父の医院と同じ名前では不都合があったため、それではいっそのこと初代の使っていた旧字体で「齒科醫院」としようと、この漢字に。「もっとも初代の時は横書きは右から左への表記でしたが」

この篆書体の文字は恩人である禅宗

の和尚様によるもの。同時に建物の名を「SANZE インプラントセンター」と名付けてもらった。「SANZE」とは仏教用語の過去・現在・未来を現す「三世」から。名前の通り、インプラント治療をはじめ、審美治療、再生療法を中心としているが、一般の虫歯治療などの保険診療も受けられる。

敦さんは出身大学のハーバードの恩師とのつながりから、ペンシルベニア大学歯学部・歯周治療学の非常勤教授も務め、年に3回ほどは1週間単位で渡米し、教壇に立つ。



名前だけでなく建物（写真・左）もこの通り。曾祖父の医院（右）を彷彿とさせる外観で、内部は贅をこらした造りとなっている